

佐田まちづくりだより

第120号



スマホでカラー版が見れます

作業後自販機周辺の草取りをしてくれました

七月十八日(土)、佐田地区まちづくり協議会では、沢山の方々の参加、協力を受け、徳瀬地区の草刈り、佐田京石及び駐車場周辺の草刈り、佐田交差点花壇の草取りそして古紙・アルミ缶回収を実施しました。

これだけ沢山の事業を実施できたのは、やはり共感して参加して下さった方々のお蔭です。

今年も、小規模集落応援隊小森建設の精鋭が、同隊まち協と一緒に草刈りに従事して下さいました。

徳瀬の「弘法の井戸」から下りてくるロングコースをどンドン進んでいく姿は、勇ましく頼りになる存在です。

佐田京石では阿南佐田小学校長も草刈り機を使って参加して下さいました。

駐車場と佐田交差点では、河野部長率いる女性部の方々が、草取り、清掃に当た



つて下さり、「佐田の玄関」もより美しくなりました。

公民館の方では、地区の皆様が持ち寄って下さった古紙、アルミ缶の回収作業。

少し前に倉庫がいっぱいになり業者に取りに来てもらい、それから間が無いので、どのくらい集まるか不安でしたが、そんな心配は無用でした。

全作業は概ね午前中で終わることが出来ました。

このような活動をして毎回思うのは、いつも参加して下さる方々、協力して下さいる方々への感謝と、ひとつのことに取組む際の団結力、まだまだ佐田は元気だということとです。

これからも元気な佐田地区継続のために少しでも役に立てればと思います。

参加、協力して下さいる方々、本当にお疲れ様でした。

ありがとうございました。

そして、今後ともよろしくお願ひいたします。

いつまでも元気な佐田
コロナに負けるな!!

3つの「密」を避けましょう!

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③付近で会話や発声をする密接場面

厚労省HPより

佐田有志の会がボランティア活動

消防団、ソフトボールチーム、PTAなど各種団体の枠を越え、佐田地区の若者の（ピンからキリまで）有志で構成する「佐田有志の会」。

「まちづくり協議会とは別に独自の活動を行っていますが、まち協とは広域農道の草刈りで委託関係を結んでいます。」

また、区長会から農村公園の法面の草刈りを請け負っており、佐田地区のために若者ゆえに出来ることを実践しています。

ただ草刈りを実施しているだけではなく、その後の懇親会などを通じ、それぞれの意見を交換するなど、佐田地区のためになりながらも自らがしつかり楽しんで活動しています。

七月二六日に広域農道と農村公園の草刈りを実施した有志の会。

生徒数が減少し、保護者の活動もままならない佐田小学校のために何か出来ることは無いかと考えた末、

雑草や竹で鬱蒼としている学校西側の法面の整備をすることにになり、八月九日に作業を実施しました。

もちろんPTAにも声をかけ協働で作業に当たりました。

この奉仕活動には、六年生の保護者は全員参加でした。

グラウンド東側の草刈りと法面の草刈りを同時進行し法面の草や竹は人力とユニボとで、中村の田中秀樹さん（サブマネージャー）方の田に運び出し燃やしました。（消防署に届出し、消防団のポンプ車も配置）

七時から開始した作業、猛暑の中を水分補給と休息をとりながら、けが人等なく午前中で完遂しました。

鬱蒼としていた所が、向こうを見渡せるすっきりとした風景に変わりました。

二学期に登校してくる児童たちの安全確保に一役買うことが出来たと、満面の笑みを浮かべていた会員の顔が素敵でした。



↑有志の会の勇姿!! 朝日がまぶしい



こんなに綺麗になりました

佐田有志の会は、平成二九年四月に同内容の作業を実施し、今回が二回目の作業となります。

また、平成二八年四月には青山城登山道整備を実施。発足は平成二四年二月の小学校グラウンド南側の竹やぶの間伐がきっかけで、作業の委託金の一部で小学校にストローを贈ったりもしています。

例年この号は供養盆踊りの記事を載せるのですが、昨年に引き続き中止に。来年こそは、みんなで楽しめる盆踊りの開催を。